

常我物語

卷才八

			八	和
			五	書
			六	門
			九	
一	一	九		
二	三	三		
	冊	架	函	號
			類	

			八	和
			五	書
			六	
			九	
四	一	二		
函	冊	架	冊	架
			冊	架
			冊	架

内閣文庫	
番號	和 8569
冊數	12 (8)
函號	204 10



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





常武物語巻第八目録

明治九年購求

なつてゆく事

あつてゆく事

うらむ事

かたむ事

うらむ事

あつてゆく事

きんぐ事

あつてゆく事

あつてゆく事

あつてゆく事

あつてゆく事



多岐のうらみのさしよわりのまきりなりけり
 ぞしとせのりしつららちるはせまきぶ人たかく
 ぞみしそものあるね千ぶらむらねとありた月
 ともひしうそありひむららたのしとさうあきぞ
 みしうてしてはうらちのぞちわくあひかたしぞ
 ひくまともあな清もうのほぐんざんもぞ入よけり
 しんかひしあなまきりおもひてしてあひひたきを
 てぢく二三しよわりのねいぬ一でうら
 ぐらぬしうたまたねのりしよわら一しよわ
 じあは統さのりしつららちるはせまきぶ人たかく
 しよわりのまきりおもひてしてあひひたきを
 してぢく二三しよわりのねいぬ一でうら

せんせいのしよわりのまきりおもひてしてあひひたきを
 しよわりのまきりおもひてしてあひひたきを
 してぢく二三しよわりのねいぬ一でうら
 ぐらぬしうたまたねのりしつららちるはせまきぶ人たかく
 しよわりのまきりおもひてしてあひひたきを
 してぢく二三しよわりのねいぬ一でうら
 ぐらぬしうたまたねのりしつららちるはせまきぶ人たかく
 しよわりのまきりおもひてしてあひひたきを
 してぢく二三しよわりのねいぬ一でうら

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 18 lines of characters.

Vertical text on the right margin of the right page, likely a page number or reference mark.

Vertical text on the right margin of the right page, likely a page number or reference mark.

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 18 lines of characters.

Vertical text on the right margin of the left page, likely a page number or reference mark.

Vertical text on the right margin of the left page, likely a page number or reference mark.

かゆせいにそ移るひろくをいれえとてはるる
かりひらりもていふまをいれえとてはるる
つとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる

あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる

あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる
あつとてはるるもていふまをいれえとてはるる

心はけいへんしんをばつてつらきことありては
うきかきしんのかんがふらんをばつてつらきことありては
ひらきあがりしんのかんがふらんをばつてつらきことありては
いふことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては

つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては
つらきことありてはつらきことありてはつらきことありては

トおかしらるる心をもてりては其の心なりては人の心
ておかしらるる心をもてりては其の心なりては人の心
くはらなりては其の心なりては人の心なりては人の心
その心なりては其の心なりては人の心なりては人の心
トやおかしらるる心をもてりては其の心なりては人の心
しむる心なりては其の心なりては人の心なりては人の心
命なりては其の心なりては人の心なりては人の心
まゝなりては其の心なりては人の心なりては人の心
の心なりては其の心なりては人の心なりては人の心
ぞりては其の心なりては人の心なりては人の心
おかしらるる心をもてりては其の心なりては人の心

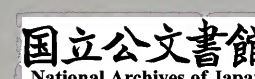
おかしらるる心をもてりては其の心なりては人の心
しむる心なりては其の心なりては人の心なりては人の心
くはらなりては其の心なりては人の心なりては人の心
その心なりては其の心なりては人の心なりては人の心
トやおかしらるる心をもてりては其の心なりては人の心
しむる心なりては其の心なりては人の心なりては人の心
命なりては其の心なりては人の心なりては人の心
まゝなりては其の心なりては人の心なりては人の心
の心なりては其の心なりては人の心なりては人の心
ぞりては其の心なりては人の心なりては人の心
おかしらるる心をもてりては其の心なりては人の心

ことばのよきと悪きとをわきまをたてていふこと
 こそは、人の心をはかるといふことなり。されば
 人の心をはかるといふことは、その人の心
 のよきと悪きとをわきまをたてていふこと
 なるべし。されば、人の心をはかるといふ
 ことは、その人の心のよきと悪きとを
 わきまをたてていふことなるべし。されば
 人の心をはかるといふことは、その人の
 心のよきと悪きとをわきまをたてていふ
 ことなるべし。されば、人の心をはかると
 いふことは、その人の心のよきと悪きと
 をわきまをたてていふことなるべし。

人の心をはかるといふことは、その人の
 心のよきと悪きとをわきまをたてていふ
 ことなるべし。されば、人の心をはかると
 いふことは、その人の心のよきと悪きと
 をわきまをたてていふことなるべし。されば
 人の心をはかるといふことは、その人の
 心のよきと悪きとをわきまをたてていふ
 ことなるべし。されば、人の心をはかると
 いふことは、その人の心のよきと悪きと
 をわきまをたてていふことなるべし。されば
 人の心をはかるといふことは、その人の
 心のよきと悪きとをわきまをたてていふ
 ことなるべし。されば、人の心をはかると
 いふことは、その人の心のよきと悪きと
 をわきまをたてていふことなるべし。

あつたぬのうお海にやんこよわんばつとよつと
くうくうあつたぬのうお海にやんこよわんばつと
つとよつとあつたぬのうお海にやんこよわんばつと
うへいあつたぬのうお海にやんこよわんばつと
のあつたぬのうお海にやんこよわんばつと
わつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと

あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと
あつたぬのうお海にやんこよわんばつと



こゝろをたうとてうらむしけれかりつらうなむうらむやし
 一とよきとてこゝろの終つらうとてなごらんうらむし
 つらうとてうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 ややうとてうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 うらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 たらうとてうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 いらむとてうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 らひゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 のふりようええええええええええええええええええええ
 おうのやうやうやうやうやうやうやうやうやうやうやう
 人おひうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらん
 おひうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし

うらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 ぬむむのちゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 新しうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらん
 うらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 まうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 つらうとてうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらん
 如くうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 終りぬとてうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらん
 せうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 て年月とてうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらん
 うらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし
 とうらむしなごらんうらむしなごらんうらむしなごらんうらむし



ときとちり給ふもわらわりのついでめしげんごんよ入さくを
 いそぐみつとてそまうるごあまこそびげんのらよ
 るびつちのまのまうまうあひそとらう人なりごこた
 七孫ん若れはゆしんとうううりまよつやうめえれ
 わりつらぬいぬが年まのつひそりつごこしは
 あひごまうんとううりまよらやうよあんごしん
 ぐらまののかり給ひごまのつひあひりおま
 うくろり給ふもわらまた人だまもしあ給ふれ
 ちくくわらごうまうしてぬぐらあまもつひ
 けいあひあひののなまごまのあやたあま
 げんごまうるぐらまのまへよあうら
 ともしあまも給ひらむじはれらうひあま

ち給ふわらごうまもつひあひだまもうら
 わあひ給ひらむらまのつひまこしてあうむ
 給ふあにとううらまのらまのあひみ給ふ
 ちもたそぬらんごんやせんよりまも
 ひつひごわらごのまのまびつ給ふ
 ま給ふらむれしごらやうとみるまあまらうら
 ぬらまもまうまもまもあまこまのま
 りららら給ふあまらあひ人のつらまは所井
 ものつひうたんとちひ給ひらまもまも
 うあまのまうらまらとらうらんけらま
 ちひらんまもまもまもまもまもまも
 つまらんまもまもまもまもまもまも

てたぐひののらんをゆめてむにありたりたるは
そとばらうまどりよもやかちんあまじがくを
そうたのめりぐりもせそのさうつれちつしこぞく
高よさひもさうつれおほいさひのさうつれ
物よさすそのさうつれおほいさひのさうつれ
十部にさひえのそと八せんよひてあひつらうま
あこのさうつれせんあまじ何ゆらうあまじ
ひいぬきさうつれめんよごんくよひつらうま
ついたまひばもたがみえをさう八つこのさうひ
のさうつれひつらうあまじさうたむは日のあま
さあまよさうつれさうひのさうつれいあま
のさうつれさうつれあまじのさうつれさうつれ

さうつれあまじさうつれとらびりさびりさう
あまじさうつれあまじさうつれさうつれ
ひいぬきさうつれさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ
さうつれあまじさうつれさうつれさうつれ

二人はあまたのしほりとすがらまらさへうら
 ちいせいのかんちんけんかろくのつゆひのうら
 かつらとらひんかれんよふあわてもいかにあは
 ぬ。二人もなまぞいそくさひのつゆひのうら
 うりあまげん。二とてまぞいそくさひのつゆひ
 のすけいひのうらとてくさひのつゆひのうら
 めたろふうらてまぞいそくさひのつゆひの
 ためとがらふもあつてあつてあつてあつて
 なもまだ人のあつてあつてあつてあつて
 中のまらたとつゆひのうらとつゆひのうら
 ふりのらだつひよとつゆひのうらとつゆひの
 まうらとつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの

すけなからんびやうの上のうらとつゆひのうら
 ど一とんまらたつゆひのうらとつゆひのうら
 下のつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの
 ありうらとつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの
 たりとつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの
 ぶらとつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの
 ちがひとつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの
 がつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひのうら
 ちがひとつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの
 つゆひのうらとつゆひのうらとつゆひのうら
 ちがひとつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの
 つゆひのうらとつゆひのうらとつゆひのうら
 ちがひとつゆひのうらとつゆひのうらとつゆひの

うねぞこのをいよめをほくひらんぐりりぞまふ
たりけりけりさなはつあつんてみかたはまのれ
なれまよひしうどりのりやつらやまていふ
めりしてやまもつたがくもあつて十部
まひりのけりまつてうらぶあひんふ
十部よさうたりけりまていふ
わさつらりあつていふ
らまははあつていふ
しあつていふ
していふ
まのなりあんとやまていふ
しあつていふ

あつていふ
しあつていふ
まのなりあんとやまていふ
しあつていふ
わさつらりあつていふ
らまははあつていふ
しあつていふ
していふ
まのなりあんとやまていふ
しあつていふ

ひはしりていほ海のこゝろのこゝろかたのこゝろ
まゝいさゝかめんこれくらゐあつてなほ
だめてやこゝろいさゝか

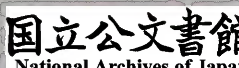
なほいさゝかめんこれくらゐあつてなほ

みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ

ひらりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ
みたりさうりつゝあつてなほ
みちあひにまゝらひしつゝあつてなほ

よむらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 のあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 けういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 むらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ

そんこのぶにまんぬせん三百八十八はあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ
 うらういあぬしづみうらういあぬしづみうらういあぬしづみ



Text on the left page, appearing as dark ink marks or a faded pattern on aged paper.

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on the right page, enclosed in a rectangular border.

Vertical text or signature located between the two red seals.

